



「練馬大根」を味わおう！

～練馬大根の特別販売・特別メニューのご案内～

と き 11月中旬から

と ころ 光が丘公園・JA 東京あおば農産物販売所5か所・区内レストラン

区は、19日(土)・20日(日)に都立光が丘公園で開催される「光が丘公園フェスタ・JA 東京あおば農業祭」で、1,700本の練馬大根を販売する。令和2・3年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止したため、今年は3年ぶりの開催となり、例年、区の伝統野菜である練馬大根を求める人で行列ができるなど、練馬の秋の風物詩となっている。

農業祭終了後も、24日からJA 東京あおばの5か所の農産物販売所で一斉販売、26日にはパークス光が丘(光が丘公園売店)で出張販売を行い、計990本の練馬大根を販売する(葉つき・泥つきで1本230円。売切れ次第、終了)。

また、11日から、区内11店舗のレストランで「練馬大根」を使った期間限定の特別メニューが登場する。各レストランとも工夫を凝らし、練馬大根の味を存分に味わえる自慢の一品が揃っている。



▲販売の様子
(令和元年)

【練馬大根の販売・特別メニューについて】

① 練馬大根の特別販売

日時：11月19日(土)・20日(日)10:00から ※売切れ次第、終了

場所：光が丘公園フェスタ・JA 東京あおば農業祭会場
(光が丘公園 けやき広場(光が丘4-1-1))

主催：JA 東京あおば、(公財)東京都公園協会

後援：練馬区

備考：「沢庵漬け」が有名な練馬大根は、収穫した後「たち編み」と呼ばれる練馬特有の干し方で天日干しにされる。農業祭では、干し風景の再現展示も行う。



▲干し風景の再現展示
(令和元年)

② 練馬大根の一斉・出張販売

・JA 東京あおば農産物販売所 5か所

日時：11月24日(木) ①・②は午前9時から、③～⑤は午前10時から

場所：①練馬地区アグリセンター(春日町1-17-34)/②とれたて村石神井(石神井町5-11-7)

③総合園芸センターふれあいの里(桜台3-35-18)/④ファーマーズショップこぐれ村(大泉学園町2-12-17)/⑤ファーマーズショップにりん草(板橋区高島平3-12-21)

・パークス光が丘(光が丘公園売店)

日時：11月26日(土) 午前10時から

③ 練馬大根の特別メニューの提供

日時：11月13日(日)から(順次開始) ※いずれのメニューも無くなり次第、終了

場所：別添「練馬大根メニュー提供レストラン一覧」参照

【(参考) 練馬大根について】

練馬大根は、干ばつやモザイク病のまん延、食生活の変化などにより、昭和30年ごろから栽培が減り、現在では市場に出回ることがほとんどなくなりました。区では、伝統野菜である練馬大根を復活させようと平成元年度から保存・育成事業に取り組み、令和4年度は、20戸の農家の協力のもと約14,400本の練馬大根を生産し、生大根や沢庵漬けの販売、収穫体験イベントなどを実施している。また、約4,800本を区立全小中学校の給食食材として使用し、地産池消の促進と食育への活用を図っている。

【問合せ】練馬大根全般について：練馬区 都市農業課 農業振興係 ☎03-5984-1403

農業祭について：東京あおば農業協同組合 地域振興部 ☎03-5910-3066